

切土拡幅工事の仮設防護柵

L型ガード工法

特許第3122637号

国土交通省新技術情報システム
NETIS登録 No.KK-130029-A



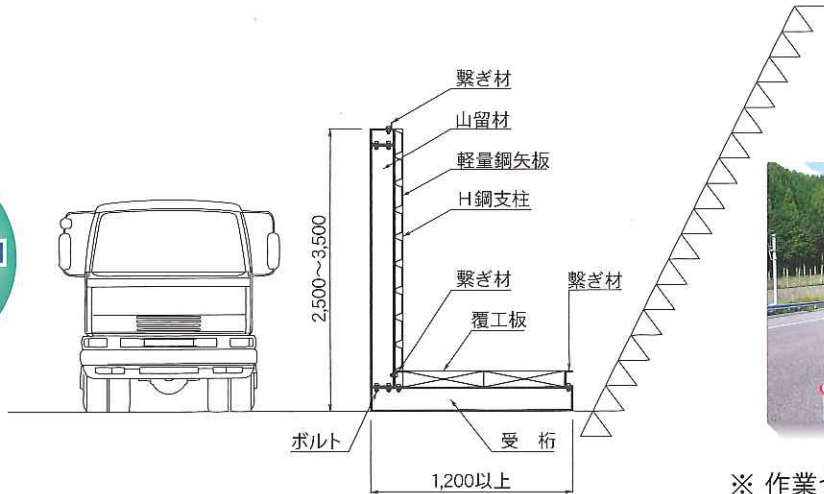
CONTACT L型ガード工法研究会

URL <http://www.l-guard.jp>

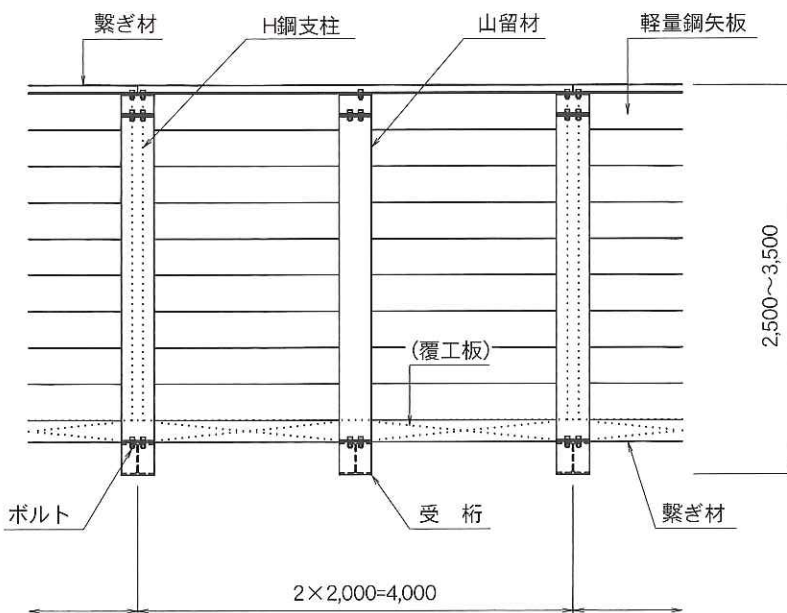
L型ガードとは

このL型ガードとは、供用中道路の拡幅工事や、切土法面の崩壊等の災害復旧工事において、切土工や既設ブロック積撤去時に破砕物の供用車線への飛散防止を図る防護柵の一種です。従来の親杭横矢板土留工（ダウンザホール工法）と比較して、経済性に優れ交通規制箇所を移動しながら施工を進める場合、施工が簡便で工期を短縮でき環境（振動・騒音）にやさしい工法です。

交通供用中



※ 作業ヤードの条件により受桁幅 1,200 以上での実績があります。



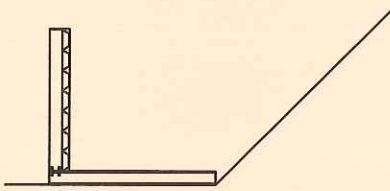
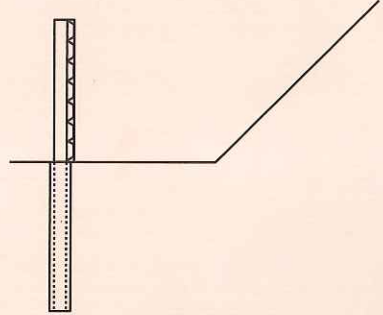
施工写真



L型ガードの特長

1. 施工が簡便で、工期が短縮できます。
2. 環境（振動・騒音）にやさしい工法です。
3. 緊急時でも施工機材の手配が容易にできます。
4. 短期間で転用の多い場合には施工費（設置、撤去等に要する費用）が有利になります。
5. 舗装本体に大きな損傷を与えず、撤去後の既設舗装の修復は、生じた不陸に表層切削オーバーレイを施工するだけですみます。

従来工法との比較

	L型ガード	親杭横矢板土留工
設置方法	設置タイプ	杭基礎タイプ
固定方法	本体自重で固定	路面へのH鋼杭で固定
形状		
施工性	◎	△
作業性	○	◎
経済性	○	△
環境	◎	△
評価	◎	○

工程の比較

(100m施工時)

L型ガード	<table border="1"> <tr> <td>設置 9日</td> <td>-----</td> <td>撤去・修復 9日</td> </tr> </table>	設置 9日	-----	撤去・修復 9日
設置 9日	-----	撤去・修復 9日		
親杭横矢板土留工 (ダウンザホール工法)	<table border="1"> <tr> <td>設置 22日</td> <td>-----</td> <td>撤去・修復 6日</td> </tr> </table>	設置 22日	-----	撤去・修復 6日
設置 22日	-----	撤去・修復 6日		

※ 地盤は軟岩工を想定

CONTACT L型ガード工法研究会

「L型ガード工法」は特許工法です。この工法を採用されます場合は、下記会員会社もしくは事務局まで必ずご連絡ください。

会員名

事務局

但東開発株式会社
担当者: 田中 誠

電話 : 0796-54-0131
メール : tankai@mx.nkansai.ne.jp